第4回耶馬渓作業部会議事録

開催日時：令和8年10月9日　10時～11時30分
開催場所：耶馬渓コミュニティーセンター　集会室

参加者

グループ	A	B	C
人数	4名	3名	3名

- ①第3回作業部会で「取り組むべきとされたタイトル」と「残すべきとされた第4次活動計画の実践目標」の関連付けについて

  第3回作業部会で「取り組むべきとされたタイトル」が列記された模造紙と「残すべきとされた第4次活動計画の実践目標」の紙を用意。それぞれ関連があると思われるものを関連付けた。

- ②①の列記されたタイトルの中から4つ選抜

  第1回作業部会で出された「地域にいる人達」や「地域の強み」を列記した資料を参照しながら、そういったものを活かしながら自分たちで取り組めるもので今後5年間、取り組んだ方が良いものをグループで4つ選抜。

  それぞれのグループでどれを選択したか情報共有を行った。

- 選抜されたものについて、具体的にどのような取り組みを行うか

  ②で各グループが選択したものを取り組む際に、実際、どのように取り組んでいくかをグループ毎に検討した。

出された意見

1	つどえる場所	今ある場所をアットホームな内装にする（公民館など）
		曜日を決めて仕組みづくり（一人の人に負担がいかないように）
		年齢問わず集まれるような行事（春、秋祭り、敬老行事等）をきっかけにサロンを継続し、人がかかわれる場所づくり
		サロンの継続。楽しく！
		地域にちなんだクイズ（地域を知る活性化）
		伝統行事（つけものをサロン以外でも活用）
		デマンド交通の活用
		サロンの合同開催
2	おもいやり	出会ったら声掛け、話す。困ったことがないか聞く
		サロンに来てもらい、世代間のつながりをつくる（世代間のつながりがあれば思いやりが生まれる）

		顔を見かけたら、挨拶をし、顔の見える関係づくりを日頃からら行う。
3	情報	頼れる人を頼る
4	頼れる人	お互いのネットワークを把握
5	生活必需品の購入	
6	環境整備	定期的な草刈りを行い、地域住民が過ごしやすいよう環境を整える
		ごみのぽい捨て啓発活動
		町内美化活動に積極的な参加
7	地域活性化	今行っている行事を継続していく
		メディアの活用（行事、イベント）
		伝統行事の継承
		つけもの教室の開催




PURE GREEN